

1. 造影MRI検査とはなんですか？

ガドリニウムと呼ばれる金属を含んだ薬を血管内に注射して行うMRI検査で、病変の存在や性状などが詳しく描出され、診断に役立ちます。また、肝臓の検査では鉄分を含んだ薬を用いることがあります。

2. どのような人にも造影検査はできるのでしょうか？

アレルギー体質の方は副作用を生じる可能性が約3倍多いといわれ、なかでも喘息の方は約10倍といわれています。造影剤を使うと腎機能を更に悪化させることがあります。

以下の問診にお答えください。

- | | |
|--------------------------------|------------|
| ・今までに「造影剤」を使用する検査を受けたことがありますか？ | (はい ・ いいえ) |
| はいと答えた方 「造影剤」で具合が悪くなったことがありますか | (はい ・ いいえ) |
| ・本人または血縁者に喘息やアレルギーがありますか？ | (はい ・ いいえ) |
| ・腎臓の働きが悪いと言われたことがありますか？ | (はい ・ いいえ) |

3. 造影剤にはどのような危険性があるのでしょうか？

検査に際しては、その時点での症状や以前にかかった病気、家族の方がかかった病気などに注意しながら安全に検査が行われるように努めておりますが、検査中あるいは検査後しばらくしてから下記の様な副作用症状がおきることがあります。

軽い副作用（頻度は1～2%以下）

- 吐き気、おう吐、動悸、頭痛、めまい、発疹、かゆみ、発熱、咳などの症状では基本的に治療を要しません。鉄分を含んだ薬の場合、特に腰痛や背部痛が起こることがあります。

重い副作用（極めてまれで1万人に5人以下、すなわち0.05%以下）

- 呼吸困難、意識障害、血圧低下などが生じることがあります。このような場合には、通常は治療が必要で後遺症が残る可能性があります。そのため、入院や手術が必要なこともあります。また、さらにまれ（100万人に1人、すなわち0.0001%）ですが、病状や体質によっては亡くなる方がいることも知られています。

以上のように造影剤の副作用があることは医師やスタッフは十分理解しており、副作用が発生した際の初期治療の訓練を積んでいます。検査中に異常を感じられた場合は、ご遠慮なくお申し出下さい。*質問がある場合は、主治医・看護師・放射線技師にお尋ね下さい。

同意書

富士見高原病院 安達院長殿

私は、以上の説明を読み、十分理解した上で造影剤の投与に同意し、治療に必要な副作用が生じた際に、必要な治療を受けることに同意します。

年 月 日 患者氏名 _____

《看護師記入欄》 年 月

体重 () Kg

eGFR () ml/min/1.7

医師氏名 _____